



Joyful Naturalist

Joyful Naturalist は「鶴見川源流ネットワーク」の通信から「特定非営利活動法人 鶴見川源流ネットワーク」の情報誌に生まれ変わりました。

Contents

●Topics

- * TRネットの鶴見川流域クリーンアップ作戦2007(第14回)
- * 第16回 町田ごみフェスタ2007
- * 第2回 総合健康づくりフェア

●NPO法人鶴見川源流ネットワークプロジェクト活動
NPO法人鶴見川源流ネットワークとして推進しているプロジェクト活動の紹介です。

●鶴見川源流ネットワーク参加団体活動
鶴見川源流ネットワークとして連携している諸団体から依頼されて広報するページです。

●9月、10月の活動報告

●10月、11月の活動予定

No.160

★鶴見川保水の森・専門学校の実習受け入れ



鶴見川源流保水の森で、東京環境工科専門学校の一年生、3クラス100名の実習授業の受け入れを致しました。9月21日(金)、10月12日(金)の2日間。npof法人鶴見川流域ネットワーク(TRネット)が学校より受け、NPO法人鶴見川源流ネットワークが管理者の町田市の了解のもと現地指導を行ったものです。

授業では、身近な自然環境を知ってもらうこと、ボランティア活動を知ってもらうこと、森林施業の技術を習得してもらうことを目的としました。具体的には竹伐作業の実習で、10時に泉の広場に集合、オリエンテーリングの後、6名毎の班に分かれて各班講師の指導を受けながら実施いたしました。道具は安全面から専用のノコギリと剪定バサミを人数分用意しました。実習生の幅広い年齢層を反映してか、ノコギリを恐るおそる扱う女性や慣れた手つきで処理する参加者など様々でした。昼食後は、保水の森から小山田桜台のバス停まで歩いて荒廃した森や、水辺がボランティア作業などによって整備されていく様子を学習してもらいました。15時半、小山田桜台にて無事解散。

伐採作業を授業として受け入れることは初めてであり、如何に安全に徹するかが課題でした。授業内容の品質と安全確保のため、講師マニュアルを整備するとともに講師陣研修も事前に実施、当日も早朝全員で現場確認を行いました。万が一の保険の手当てにも苦労いたしました。100人誰一人怪我することなく無事終了したことは今後の活動の自信となりました。このような活動も保水の森整備の枠組みのひとつとして、今後とも幅広い参加による森づくりを目指していきたいと思っております。無事終了したのも、当日ご参加くださいました町田市北部丘陵の職員の方々をはじめ、NPO TRネットスタッフを含む関係各位のご支援・ご協力の賜物とこの場を借りて皆様に御礼申し上げます。

【NPO法人鶴見川源流ネットワーク事務局長 小林 美晴】